

保 健 体 育 科

◎青木 孝文 ○堀口 はるか 渡部 顕治 渡辺 南都

1 目指す生徒の姿

豊かな社会を切り拓こうとする自立した学習者

2 全校研究テーマ

「キャリア×STEAM」の学習による、新たな価値を創造できる資質・能力の育成

3 保健体育科における「新たな価値を創造できる資質・能力」の捉え

ア 問題発見・解決能力 各教科等の「見方・考え方」を自在に働かせ、本質的な問いを見いだすこと	イ 批判的思考力 多面的・多角的に考察し、よりよい解決方法を見いだすこと	ウ 自分のよさや可能性を認識し、その力をさらに伸ばしたり、社会に生かそうとしたりする力 自己の生き方を尊重できること、他者を尊重し多様な他者と協働できること、社会貢献したり持続可能な社会を創造しようとしたりすること
目的に応じた課題を発見して解決すること	既習の知識や技能を自己や仲間の課題に応じて学習場面に適用したり、応用したりすること	運動が有する特性や魅力に応じて、自主的にその楽しさや喜びを味わおうとすること

4 保健体育科における全校研究テーマの受け止め

中学校学習指導要領（平成 29 年度告示）解説保健体育編第 1 章 2 節の改訂の要点には「体力や技能の程度、性別や障害の有無等にかかわらず、運動やスポーツの多様な楽しみ方を共有することができるよう指導内容の充実を図ること。その際、共生の視点を重視して改善を図ること。」と示されている。

本校保健体育科では、生涯にわたって豊かなスポーツライフの実現を目指していく上で、運動の特性や魅力を十分に味わうために、競技スポーツのルールにとらわれることなく、必要であれば自分たちに合ったルールを考え、つくり出しながら運動を楽しむことが大切であると考えた。そのために、その運動の特性や魅力と自分たちの目指す姿に合わせて、必要なルールや運動の行い方についての課題を、仲間と話し合いながら解決していく場を設定する。このようにすることで、生徒は、運動の特性や魅力に応じて、必要な技能を身に付けながら、ルールを創造し、自主的にその楽しさや喜びを味わおうとすることができると考えた。また、「あさひのプロジェクト」においても、健康的な生活を送るためにスポーツを活用しようとする場面で、運動の特性や魅力と実施する人の年齢や技能を考慮してゲームやルールを工夫する際に、保健体育科で育成された力が発揮されることがあると考えた。

以上のことから、「学習指導要領」の具現と、「新たな価値を創造できる資質・能力」を育成するために、令和 5 年度の保健体育科研究テーマを以下のように設定した。

5 令和 5 年度 保健体育科研究テーマ

運動についての課題を合理的に解決する力を高める学習の在り方